

研修名	訪問看護師の育成体制整備支援事業 「訪問看護師の育成に関する研修」				
領域	訪問看護	会場	新潟県看護研修センター	資料代	会員 3,300 円 非会員 6,600 円
対象	対象者；訪問看護ステーションにおいて訪問看護師の指導を担う職員 受 講；58 施設＋個人受講 1 名				
日時	令和 5 年 6 月 28 日・7 月 12 日・7 月 31 日・9 月 6 日；16:30～18:00 10 月 7 日・令和 6 年 2 月 17 日；9:30～12:00				
ねらい (目標)	<p>1. 県内の訪問看護ステーションにおいて訪問看護師の育成を業務として位置づけ、組織全体として取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導を担う職員が、訪問看護師育成に必要な知識、技術を修得できる。 ・指導を担う職員が主体となり、組織全体で訪問看護師育成に業務として取り組むことができる <p>2. 新潟県版訪問看護師育成ツールを導入できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導を担う職員が、滋賀県版クリニカルラダーおよび活用方法を理解できる ・必要とする訪問看護ステーションにおいて、新潟県版訪問看護師育成ツールを試行し、更新するための検討ができる 				
講師	<p>第 1 回 社会人に対する教育方法について学ぶ； 伊藤 充 新潟青陵大学 特任教授</p> <p>第 2 回 滋賀県版クリニカルラダーの基本を学ぶ； 駒井和子 滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会 会長</p> <p>第 3 回 滋賀県版クリニカルラダーの活用方法を学ぶ 駒井和子 同上</p> <p>第 4 回 実践報告；西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション 新潟県版訪問看護師育成ツール（案）の提示；訪問看護総合支援センター</p> <p>第 5 回 意見交換；各訪問看護ステーションにおける現状確認、課題分析、計画立案等</p> <p>第 6 回 意見交換；各訪問看護ステーションにおける実践振り返りと計画修正 新潟県版訪問看護師育成ツール（案）の修正</p>				
内容・方法	講義、実践報告、意見交換等				
結果・評価	<p>○評価方法；アンケート（回収率 71.2%）</p> <p>○受講者満足度；全回の平均 満足 41.3% まあ満足 48.0%</p> <p>○研修目的達成度；達成できた 21.4% 大体達成できた 40.5% 達成できなかった 38.1%</p>				
企画の評価	<p>○目的・目標の妥当性 令和 5 年度新たな事業であり 2 か年を実施期間とした。満足度は高い。目的達成できなかったという回答が半数に近いが、組織としての取り組みを目標としていること、年度別の目標設定をしなかったことが原因と考える。</p> <p>○講師・内容の妥当性 第 1 回から第 4 回の満足度は高く妥当と考える。</p> <p>○プログラム・時期の妥当性 研修会を重ねるごとに実際の取り組みに繋げることができて形になってきたとの意見が多い。研修の組み立てとしては妥当であった。</p> <p>新潟県版訪問看護師育成ツール（案）の試行については、施設規模による取り組み状況や課題が異なるため意見交換のグループ編成を規模別としたが、母体法人による違いがあり、他の実践を活用するには至らなかった。また新潟県版訪問看護師育成ツール（案）の提示後、5</p>				

	<p>か月後に振り返りを実施したが取り組めていない施設も多く、評価期間の配慮が必要であった。</p> <p>開催方法については平日または土曜日に短時間とすることで受講しやすいと好評であった。</p>
課題	<p>新潟県版訪問看護師育成ツールを検討、修正して確定していくが、最終目的は各訪問看護ステーションにおいて育成体制が整備されることである。形式にとらわれず、各訪問看護ステーションの実情にあった体制が整うよう全体研修や情報交換に加え、個別の支援も検討する。</p>
担当者	<p>訪問看護推進委員会 訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター</p>